



近年、臨床医以外のキャリアにも注目が集まっています。今回、保健所や都道府県庁、厚労省等の行政で働く医師のキャリアと、本分野を基本領域とする社会医学系専門医制度について、私の経験を交えてお話しします。

宮園将哉 Masaya Miyazono 大阪府岸和田保健所

略歴：1996年自治医科大学医学部卒業。初期研修と救命救急センターでの臨床経験を
経て、2000年から大阪府庁や府内の保健所で行政医師として勤務。2010年からは府内
の保健所で保健所長として勤務し、2020年から大阪府地域医療支援センターで医師確
保に関する業務に従事した後、2024年4月より現職。



公衆衛生好きの一人として、「公衆衛生活動って、こんなに面白い！」
ということを皆様に少しでもお伝えして、一緒に、楽しく行政・保健所
の公衆衛生活動をやっていける仲間を増やして行けたらなあと思っています。

劔 陽子 Yoko Tsurugi 熊本県阿蘇保健所 熊本県庁健康福祉部健康危機管理課

略歴：1995年産業医大卒。へき地・離島・途上国志向で、茅ヶ崎徳洲会病院での離島
研修、NGOでミャンマー派遣、大学公衆衛生助手、JICA/結核研究所カンボジア結核
対策プロジェクト派遣などを経験したのち、2015年熊本県入庁。

公衆衛生医師を知らない人も。

公衆衛生医師を希望する人も。

公衆衛生医師を極めたい人も。

誰もが夢中になる、2日間。

SPECIALISTS 講師紹介 1

ビジョンセンター東京八重洲

AUG 23-24 2025

PHSS 公衆衛生 若手医師・医学生 サマーセミナー



臨床医から行政医師に転身し、楽しく充実した日々を送っています。臨床医とのギャップや裏話も含め私が
感じている行政医師、社会医学、公衆衛生の魅力を存分に語りたいと思
います。わいわい楽しい時間にしましょう！

安達優真 Yuma Adachi 福島県相双保健所

略歴：福島県二本松市出身。2011年山形大学医学部医学科卒業。一般財団法人太田綜
合病院附属太田西ノ内病院での初期臨床研修、呼吸器内科勤務を経て、2021年10月
より福島県の行政医師。2024年4月から福島県相双保健所長。



誰しものがきっと疑問を抱くはず、保健所長ではない医師がどんな仕事をして
いるのか。行政の世界での過ごし方と、管理職ではないからこそ関わった多様な仕事について、等身大
でお伝えします。

宇野 春日 Haruhi Uno 名古屋市保健所 中保健センター

略歴：2019年奈良県立医科大学卒業。奈良県での初期臨床研修中に県型保健所研修を
経験し、2021年に名古屋市へ入庁。以降、現所属で感染症対策や精神保健、介護予防、
健康づくり業務などに従事。

SPECIALISTS

講師紹介 2

ビジョンセンター東京八重洲

AUG 23-24 2025



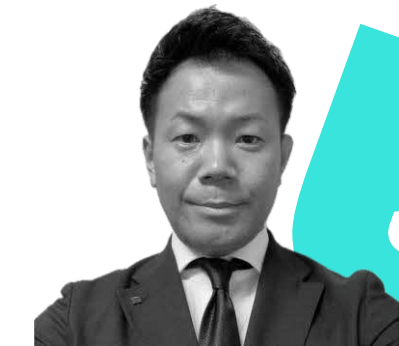
5

みんなと違う道に進むのは勇気がいることですが、仲間がいるとわかると、その気持ちは大きく変わるかもしれません。ぜひみんなで期待も不安も分かち合いましょう！ご参加お待ちしております。

菊地省大 Shota Kikuchi

東京都健康安全研究センター

略歴：2022年筑波大学医学群医学類卒業。埼玉県内での初期臨床研修を経て、2024年東京都に公衆衛生医師として入職。1年間墨田区保健所で勤務した後、2025年より現所属に配属。



6

人生一度きり、世の中を動かすような仕事をしてみませんか？1人では不可能なことでも、公衆衛生の世界では様々な職種、多くの仲間の力で切り開くことができます。共に戦いましょう！

田口将人 Masato Taguchi

北海道岩見沢保健所

略歴：2022年旭川医科大学医学部卒業。学生時に知った北海道の医療問題に制度面からのアプローチができないかと考え、初期臨床研修を経て2024年4月に北海道に入庁。以降、現所属。



7

臨床と行政と経営。医療に関わる3つのレイヤーはそれぞれ違う軸で考えています。3つの視点を統合し、地域の保健医療福祉を俯瞰して見るプレイヤーが必要なはずです。医療計画、社会的処方、地域共生社会。すべてのレイヤーからこれらの取り組みを行った実践をお話しします。

守本陽一 Yoichi Morimoto

(一社)ケアと暮らしの編集社
公立八鹿病院総合診療科

略歴：兵庫県養父市出身。2018年自治医科大学卒業。兵庫県但馬地域で、総合診療医、公衆衛生医師として働く傍ら、2020年に一般社団法人ケアと暮らしの編集社を設立し、図書館型地域共生拠点「だいかい文庫」を開設・運営。修士（芸術）。

公衆衛生医師は医師数全体のわずか0.5%、全国的に不足している医師職の一つです。行政機関を拠点とし、社会全体の健康と安全を守るため、政策立案からネットワークづくりまで、幅広い活動を行なっています。

7人の講師のセッションは、あなたに、公衆衛生医師という果てしない魅力と、高まり続ける必要性を、余すところなく伝えます。

また、全国の参加者とのグループワークを通じて、それまで知りあうこともなかった、同じ思いの仲間と出会い、あなたの未来を開くための大切なつながりを、ここで得ることができます。



chair person

社会医学・公衆衛生に関心があるすべての人へ。PHSS2025は、実践者の熱量と仲間との出会いを通じて、あなたの関心を「行動」へとつなげる場です。この夏、多様な視点に触れ、医師キャリアの多様性を探りに行きましょう。

松澤 知 Tomo Matsuzawa

新潟県福祉保健部／佐渡保健所

略歴：2017年近畿大学医学部卒業。初期臨床研修を経て2019年から行政（新潟県）に入り、2020年から新型コロナウイルス感染症に係る県医療調整本部員などを務め、2025年より現所属。社会医学系専門医。